

校長式辞

日一日と春の暖かさを感じ、若い命が躍動する季節となりました。

本日ここに、平成三十九年度東京都立芝商業高等学校入学式を挙げるにあたり、多数の御来賓の方々の御臨席と保護者の皆様の御列席を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました196名の新入生の皆さん、入学おめでとう。また、これまでお子様を支えて来られた保護者の皆様、お子様の御入学を心よりお祝い申し上げます。私たち、教職員一同は、新入生の入学を心待ちにしていました。

新入生の皆さんは、これから始まる高校生活への期待と不安のなか、その第一歩を踏み出したわけですが、先ほどの呼名の際、緊張しながらも引き締まった表情で力強く返事をする皆さんの姿に、芝商業高校での生活に対する確かな決意を感じ取ることができました。

本校は、ビジネス教育を中心とした教育活動を通して、グローバル化する社会環境の中で自立することのできる人材の育成を使命としています。また、人権尊重・社会貢献の精神を育み、勤労意欲に溢れ、正しい職業観と社会性をもった人間を育成するという教育目標のもと、特色ある様々な教育活動を展開しています。

数多くある高校の中から本校を選んだ皆さんには、芝商生としての自覚と誇りをもって、先輩たちが築いてきた伝統の上に、新たに自らの伝統を作り上げていくことを期待しています。

さて、新入生の皆さんがこれから本校での生活をスタートするに当たって、私から一つメッセージを送ります。

それは、皆さんには芝商生として、また地域社会の一員として、他者と積極的に関わりながら自己を成長させて欲しいということです。

同じ教室の中には、様々な中学校から友人が集まり、共に学びます。当然のことながら、目標や考え方も人それぞれです。そこで、一人一人が常に相手のことを考え、自分自身の言動を振り返り、お互いの気持ちや立場を大切に豊かな人間関係を築いていって欲しいと思います。

また、本校が立地している浜松町・竹芝地区は、現在、複数の大規模な再開発プロジェクトが進行し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今後の成長が大きく期待されるエリアです。特に、この地域には多くの企業が集まっており、皆さんが実践的・体験的にビジネスを学習する上で、これほど適した場所はありません。新入生の皆さんには、地域にある資源の活用や、新しい魅力あるコミュニティづくりといったビジネスに関する学習を通して、人と人との繋がり大切さを学んで欲しいと思います。

そして、本校で過ごす3年間に、様々な人たちと出会う中で、本校の校歌に謳われている「励みあい」という言葉、この言葉を、芝商生である限り常に持ち続け、互いに助け合いながら自分自身を高めていくことを願っています。

さて、保護者の皆様、今日まで深い愛情をもって慈しんでこられたお子様を、本日から本校で大切にお預かりいたします。新しい環境への御心配や御不安をお持ちの方もいらっしゃるかと拝察いたしますが、何かございましたら、遠慮なく御相談ください。

また、お子様自身も高校生になることで自分が一段階を上がり、成長したということを感じていることと思います。保護者の皆様には、お子様の自立に向けて、時には厳しく、時には優しく、適度な距離を保って、見守っていただければ有難く存じます。

結びに、御来賓の皆様、並びに保護者の皆様には、今後とも本校の教育に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御期待に応える教育を本校教職員一丸となって取り組んで参りますことをここに御誓い申し上げます、式辞といたします。

平成30年4月9日

東京都立芝商業高等学校長 林 修